

私は普段、履物の文化や歴史的な側面についてよく調べているのですが、履物が主役になっている物語がたくさんありますね。タイトルに履物の名前がつくものもあれば、ストーリーそれ自体が履物についてのものもあります。どれも履物文化を勉強している身としては、なぜ履物がテーマになるのか、どうして履物がそのお話の中で重要な構成要素になるのか。そもそも、人はなぜ履物を特別視しているのだろうか…そんなことに大変興味があり、履物のもつ不思議な魅力に日々引き込まれています。もちろん身に着ける履物も大好きですし、自分が器用だったのなら、自分のための一足を自分で作ることができたらなと思うこともあります。

さて、履物が印象的なお話の代表といえばシンデレラでしょうか？それともオズの魔法使い？シンデレラのガラスの靴（Glass Slippers）もドロシーの真っ赤なルビーの靴（Ruby Slippers）も、現代の靴デザイナーたちにインスピレーションを与え続け、様々なオマージュ作品が生み出されています。ちなみに、この2つの物語に出てくる履物ですが、日本語では“靴”と呼ばれますが、英語では“スリッパー”なんですよね。スリッパと言わると、家の中や、病院とか旅館とか、どちらかといえば踵のない室内履きの履物をイメージされる方も多いと思いますが、英語の“スリッパー”は、滑るという意味のスリップのようにするりと履ける履物という意味になります。Slippersはポンと簡単に履けるものであり、Shoesは甲が覆われて紐などで結んでしっかりと履くようなそんなイメージでしょうか。こういった言葉の意味も深く調べてい

くとともに面白いのです。履物にまつわる漢字もたくさんあるように、履物それぞれに特有の呼び方があって、「靴（Shoes）」その一言だけでは足りず、たくさんの種類があります。靴、履、鞋、沓…同じ発音の「クツ」だけで、すでにこれだけありますね。

世界中にある履物ミュージアムの中には、物語の中に登場する靴たちを展示しているところがあります。常設展示でいつでも見られるものから企画展での期間限定展示までさまざまですが、出会えたラッキーです。

実際に、オズの魔法使いの映画で、ジュディー・ガーランドが履いた真っ赤なルビーの靴は、実は4足あるのですが、その一つはアメリカのスミソニアン博物館群の中のひとつ「国立アメリカ歴史博物館」に収蔵されています。アメリカまで行かなくても、この博物館のインターネットデジタルアーカイブで写真を見ることができます。1939年製のその真っ赤なルビーの靴はアッパーには真っ赤なスパンコールが使われて、つま先には可愛らしいリボンが、そこにルビー色の石がついていて、ソールも真っ赤でとっても可愛らしい靴です。ちなみに、サイズは約24cm。あの3足もそれぞれ個人コレクターや、アメリカ・ロサンゼルスの「映画芸術科学アカデミー」が所有しています。中でも印象的なお話として、アメリカ・ミネソタ州にある「ジュディー・ガーランド博物館」から2005年に一枚の赤いスパンコールだけを残して、ケースから盗まれてしまったことがありました。それが20年以上の時を経て2018年に見つかったと、ニュースになりました。靴を盗んだ犯人たちはこの靴が本物のルビーで作られている

と思って犯行に及んだそうです。実際は本物のルビーではなく、赤く塗られているだけでした。でも、ものすごく高い価値のある靴の一つであることには変わりません。何よりも20年もの月日が経って、発見されたこと、靴好きとして、大変嬉しいニュースでした。

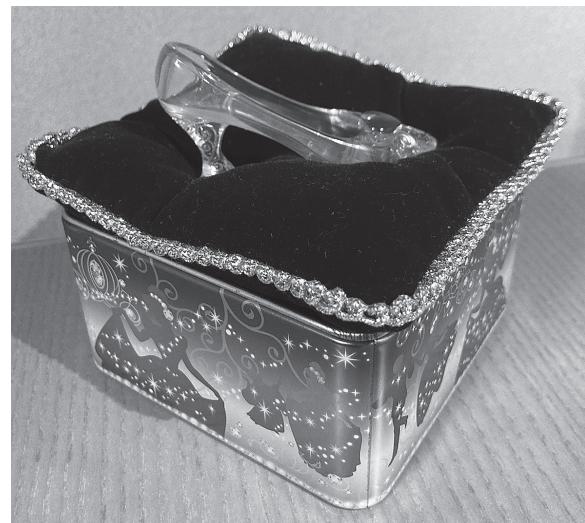


Chris Evans from same, United States, CC BY 2.0.
ウィキメディア・コモンズより
国立アメリカ歴史博物館所蔵のRuby Slippers

2015年には実写版のシンデレラの映画公開にともない、有名な現代のシューズデザイナーたちにより現代風のガラスの靴が造られ、期間限定でしたがフランスで展示されましたこともありました。シンデレラのガラスの靴は、オマージュして作られたものが様々なミュージアムで展示されています。調べているとだいたい、各館内コレクションの中に“シンデレラの靴”や、“ガラスの靴”と名のついた収蔵品を見つけることができます。是非、調べてみてほしいです。200年くらい前に作られた作品があったり、多種多様なガラスの靴作品を見つけることができると思います。

シンデレラの靴に関しては、前号でも触れたギネスワールドレコーズにちなむお話になりますが、日本にシンデレラコレクターとしてギネス記録に認定されている方がいらっしゃいます。個人的にもお会いしたこともあります。圧巻のギネス記録のシンデレラコレクションも見せていただいたのですが、時代や

国によって違う描写がされているシンデレラのお話の中で、その絵本や絵画の中で描かれるガラスの靴も多種多様で、大変感動を覚えました。



著者所有のシンデレラの
ガラスの靴モチーフの缶ケース



著者所有のシンデレラ絵本のポストカードたち

最後に、王子様と結ばれたシンデレラを祝福するハッピーエンドのシーンで、普通なら花とかリボンが飛び交うところを靴が飛び交っているものがありました。シンデレラの靴だけをフォーカスしてシンデレラの作品を見ていくのも、新しい物語の側面を発見できそうでワクワクします。 <次号へ続く>